

政策評価シート【総括票】

施策の柱 **4-1 市民の安全・安心を守る**

基本方針 **市民の安全・安心を守るため、災害に強いまちづくりや、交通安全・防災対策、消費生活の安定・向上などを進めます。**

担当局(区) 総務局 市民局 建設局 消防局

評価区分 **C 政策の目的達成に向け順調に成果が現われている**

【評価の理由・説明】
 東日本大震災以降、学校や下水道、橋梁等の公共施設の耐震化の取組みを着実に進めるとともに、防災行政無線の改修等も順調に進捗している。「避難所運営委員会設置率」が中間目標値を超え、また、地域における避難行動要支援者の支援体制の構築も進んでおり、地域住民の自助・共助の意識向上が図られている。
 一方、「災害に強いまちづくりが進んでいる」のような、さまざまな取組みの効果により総合的に判断される指標の伸びは鈍く、これは耐震診断・耐震改修助成の推進や家具転倒防止対策など市民に身近な事業において目標値に達していないことなどが、市民の実感として表れているものと考えられる。
 消防・救急体制については、共同指令センターの整備など消防指令体制の充実や救命講習会の開催による応急手当の普及啓発など市民の防火防災意識が高まったこともあり、概ね目標を達成できている。
 市民に身近な交通安全対策では、放置自転車対策の実施、自転車レーンや生活道路等の整備を順調に行ったことにより、「市内の道路は、歩行者や自転車が安全に走行できる」と感じる市民の割合が中間目標値を超えており、また、消費生活の安定・向上については、高齢者の消費者被害の増加や消費者の関心の高まりにより、「消費生活講座等の受講者数」が中間目標値を大きく上回っていると、考えられる。
 防犯対策では、防犯パトロール隊員の高齢化などの影響により、防犯活動への参加率が減少している。
 全体をとおしてみると、当施策の柱にかかる事業の進捗は概ね順調であり、それに関連する指標についても目標値を達成しているものが多かったが、「災害に強いまちづくりが進んでいる」や「市内の治安は良い」など、さまざまな取組みの効果や社会情勢の変化により総合的に判断される指標の伸びが低かったため、評価が伸びなかった。

【今後の取組みの方向性】
 学校施設の耐震化は完了したが、引き続き下水道や橋梁等の耐震化を推進する。
 防災体制については、災害に強いまちづくりを市民がより実感できるよう、市民自身が主役である自主防災組織の結成を促進するとともに、すべての避難所において避難所運営委員会を設立することを目指し、町内自治会等への働きかけや支援を行う。また、「災害に備えて避難場所の確認や食糧の備蓄、非常用持出品の用意などを行っている」値が伸びていないことに対しては、ホームページ等を活用した情報発信や市政出前講座での啓発等により、共助だけでなく自助の必要性を広く周知し、防災意識の醸成を図る。
 市内の「交通事故死傷者数」は中間目標値を達成しているが、高齢者が関わる事故及び自転車が関係する事故の割合が高い状況であることから、交通安全教室、自転車安全利用講習会等による安全教育や普及活動により自転車の安全利用を促進すると同時に、警察や交通安全協会等との連携を強化していく。応急手当についても市民と協働した普及啓発を図るほか、ICTを活用した救急業務の推進等、質の高い消防行政サービスを市民へ提供する体制を構築する。
 また、「消費者被害に関する情報提供や相談体制が充実している」と感じている割合が低いことについては、近年の消費者被害の増加がメディアで報じられ、消費者自身の関心が高まっている中で、消費生活センターの業務や消費者トラブルに関する知識が、市民に定着していないことが原因と考えられることから、消費生活センターでの相談や区役所での出張相談について改めて周知を図るとともに、消費者被害防止に関する有効な情報を市政だよりやホームページで提供する。加えて、子どもや高齢者などを狙った犯罪を未然に防ぐため、登下校時による安全確保や、振り込め詐欺防止のための普及啓発、街頭キャンペーンの実施などに取り組んでいく。

評価区分の基準(指標の達成状況の平均点数)
 A:4.5点以上、B:3.0点以上4.5点未満、C:1.5点以上3.0点未満、D:0点以上1.5点未満、E:0点未満

生活実感・行動指標

指標No.	指標名	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
108	災害に強いまちづくりが進んでいる	14.4	40.0	50.0	60.0	22.4			△	1
112	地域において、災害時の協力体制が整っている	25.5	35.0	45.0	60.0	32.8			○	3
113	災害に備えて避難場所の確認や、食糧の備蓄、非常用持出品の用意などを行っている	38.4	45.0	52.0	60.0	40.4			△	1
117	市の消防・救急体制が整っている	49.3	53.0	56.0	60.0	52.1			○	3
120	市内の道路は、歩行者や自転車が安全に通行できる	19.4	22.9	26.5	30.0	25.0			◎	5
123	市内の治安は良い	42.7	60.0	65.0	70.0	52.5			△	1
124	この1年間に、地域において防犯活動に参加したことがある	13.8	15.0	20.0	25.0	11.0			×	-1
126	消費者被害に関する情報提供や相談体制が充実している	11.9	15.0	20.0	25.0	14.0			○	3

客観指標

指標No.	指標名(単位)	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
109	耐震補強が必要な橋梁の改善率(%)	60.4	77.7	87.8	100	79.1			◎	5
110	下水道管の耐震化率(%)	32	45.2	58.5	76.2	43.1			○	3
111	駅や公共施設等を結ぶ道路等の無電柱化率(%)	51.6	54.0	56.0	58.5	54.2			◎	5
114	災害時地域支えあい事業取組団体数(団体)	66	138	246	438	71			△	1
115	自主防災組織結成率(%)	66.8	71.1	75.5	82.0	65			×	-1
116	避難所運営委員会設置率(%)	—	19.0	57.0	100	68.6			◎	5
118	建物の延焼率(%)	10.2	9.8	9.5	9.2	9.5			◎	5
119	心肺機能停止傷病者の救命率(%)	12.9	16.0	18.0	20.0	11.6			×	-1
121	交通事故死傷者数(人)	4,987	4,217	3,569	3,065	3,863			◎	5
122	放置自転車台数(台)	4,200	3,700	3,300	3,000	1,400			◎	5
125	刑法犯認知件数(件)	15,542	13,100	10,900	9,000	12,321			◎	5
127	消費生活講座等の受講者数(人/年)	400	460	520	580	567			◎	5

平均点 **2.9**

施策別・事業の進捗状況

施策	進捗状況		主な事業の進捗状況(事業を取り巻く社会経済情勢、成果・課題など)
	達成	未達成	
4-1-1	25	11	市内ではH25の台風による浸水被害などが起きた。 耐震補強が必要な橋梁や駅や公共施設等を結ぶ道路等の無電柱化などは、国の補正予算を積極的に活用し、中間目標値を達成した。
4-1-2	24	13	H26の大雪による帰宅困難者の発生した。 避難所運営委員会は緑区ですべての避難所に設立されるなど順調に進捗しており、引き続きすべての避難所での設立に向け取り組んでいく。
4-1-3	39	4	救命講習会の受講者数の大幅増加などの応急手当の普及啓発や消防団無線のデジタル化など消防団活動体制の充実などを推進してきた。
4-1-4	13	8	歩行者や自転車が安全に通行できる道路の整備については、概ね計画どおりに進捗している。引き続き、歩道の整備や交差点の改良を推進する。
4-1-5	13	18	地域の防犯活動への参加率が平成23年度末比で減少している。隊員の高齢化によるものが大きい。若年層へ参加の働きかけを行う。
4-1-6	6	0	高齢者向けの消費者被害が増加しており、消費者サポーター養成講座について、受講後の活動支援につながる仕組みづくりが必要である。